

精密工学会国際賞 第4回 (2003年度)

受賞者 経歴・業績概要

受賞者： Dr. Pat McKeown

【 略歴 】

1951年	Cranfield 大学卒業、Bristol Aircraft 社技師
1968年	Cranfield 大学教授
1975年	Cranfield Unit of Precision Engineering (CUPE) 設立 (*英文の資料では1968となっている)
1986年	Fellowship of Engineering, the UK's National Academy of Engineering
1986年	Charter Fellowship of the Society of Manufacturing Engineering UK Nanotechnology Strategy Committee and the EPSRC Nanotechnology の創設メンバー
1988-93年	the UK LINK Nanotechnology project "Ultra Precision Machining Research" をリード
1991年	International Advisors for the GINTIC Institute of Manufacturing Technology (Singapore)
1991年	awarded the OBE (Order of British Empire)
1996年	Cranfield 大学名誉教授
1996年	euspen 創設、初代会長

【 業績概要 】

P. McKeown 名誉教授は、企業における技術者を経験した後、英国クランフィールド大学の教授となり、超精密工作機械、超精密加工の研究分野で、世界をリードしてきた研究者です。

同博士の業績として euspen の前身とも言える、International Precision Engineering Seminar 国際会議を設立し、その中心的存在として、運営にあたってきたことがあげられます。また、その実績をもとに、EU に働きかけヨーロッパの精密工学会 "euspen" を創設し、初代の会長となりました。現在も euspen の創始者として、同学会の運営に大きな影響を及ぼすのみならず、具体的な活動支援を行っており、euspen のイギリス代表でもあります。

同博士はまた、CIRP（国際生産加工研究会議）においても、1975年から正会員として中心的な役割を果たしてきており、1988/89年のCIRP会長を務めています。

ヨーロッパを中心とした超精密とナノテクノロジーの草分けとして活躍されてきました。

同博士はまた、超精密関係の世界的な研究者であるばかりでなく、クランフィールド大学に、大学内ベンチャーとも言えるクランフィールド・プレジジョン社を創設して、社長として就任し、大学内で開発した研究成果を積極的に実用化し、世界に類を見ない多くの特徴ある超精密加工機を数多く設計・製造した輝かしい実績もあり、ここで開発された代表的な工作機械の例としては、グラナイト・ベッドを有する大型のX線天体望遠鏡加工用縦型超精密旋盤、ナノセンターとして知られている超精密加工機などがあります。